

令和元年度 スポーツ振興くじ助成事業実施報告

特定非営利活動法人雪合戦インターナショナルは、
独立行政法人日本スポーツ振興センターによる
スポーツ振興くじ助成金を受けて活動しています。



日本のすべてのスポーツのためにスポーツ振興くじは、子どもからお年寄りまで、誰もが身近にスポーツに親しめる環境整備や、競技水準の向上のための環境整備など、新たなスポーツ振興政策を実施するため、その財源確保の手段として導入されたものです。独立行政法人日本スポーツ振興センター（JSC）では、スポーツ振興くじの収益をもとに、地方公共団体及びスポーツ団体が行うスポーツの振興を目的とする事業に対して「スポーツ振興くじ助成金」によるスポーツ振興事業助成を平成14年度から実施しています。

第32回昭和天山国際雪合戦

青少年の健全育成や雪国の人々の健康増進、そしてスポーツ雪合戦の普及拡大を目的として、平成31年2月23・24日、スポーツ雪合戦発祥の地である北海道壮瞥町の昭和天山山麓特設会場で開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の急速な拡大に伴い、開催直前の2月20日、急遽中止を決定しました。

NPO法人雪合戦インターナショナル及び昭和天山国際雪合戦実行委員会としては、昭和天山国際雪合戦に対する選手、関係者、地域の熱意や思いを重く受け止め、本大会の開催に向けてぎりぎりまで努力しましたが、国の動向や北海道内での感染拡大など、日々、感染リスクが高まっていく状況下においては、「大会を開催することで、関係する皆様や地域全体に様々な被害を及ぼす恐れがある」と判断し、本当に苦渋の選択ではありましたが、中止することになりました（なお、本大会の中止にあたっては、各チームからいただいた大会参加料や地域企業の皆様からいただいた協賛金は、原則、全額返金させていただくこととしています）。

●助成金の交付、使途

大会中止の決定が開催の直前となってしまったため、主催者側ではすでにほとんどの準備を完了、すなわち多くの準備経費を支出していましたが、JSCからは、大会を中止したにも関わらず、それらの経費に対しても助成金が交付されました。助成金の対象経費は次のとおりです。JSCのご配慮に心から感謝いたします。



大会ポスターの作成



会場内看板の設置



会場設営車両の借上

- その他にも
 - ・大会プログラムの作成
 - ・表彰品（メダルなど）
 - ・仮設電気工事
- などに活用しています。

●助成金額計 3,156,000円